

分かる！ 60ページのフルカラーで、電機産業の現在を分析、未来を展望

希望がもてる！ 明るい未来は労働組合とともに



頒価 500円

- 第1章 はじめに
- 第2章 私たちを取り巻く現実
- 第3章 私たちの未来はどうなる
- 第4章 基本的な観点
- 第5章 明るい未来のための提言

電機産業政策を提言！

第2章 私たちを取り巻く現実

⑪ それでも適応しなくては



電機の大リストラによって職場を追われた労働者は、数十万人規模に及び、現在も増加を続けています。これら多数の労働者がリストラによってどうなったのかについては、再就職の苦労や転職後の困難などがテレビのドキュメンタリー番組で放送されることもありますが、全体像は未だほとんどつかめていません。

一方で、現在も会社で働き続けている人の現状については、現役労働者の話や、電機懇談会や電機・情報ユニオンの実施しているアンケートなどを通じて伺い知ることができます。それらから読み取れるのは、賞金の減額、降格やリストラ、年金制度の問題などからくる収入不安、将来のお金と生活への不安を、多くの労働者が抱えていることです。

お金への不安は、すなわち私たちがともに生きて行けるかどうかに対する不安そのものです。現代では、私たちは生きるための手段のほとんどを、お金と交換することでしか得られません。そのお金を得る手段としては、土地や株式や預金などの財産でも持っていない限り、働いて賞金として得るのが唯一の手段です。だから私たちは働かなければならないし、働く場を得るために、一定の収入を得

るために、職場に適応しなくてはならないとの気持ちになります。ですから、たとえ顧客や上司や他部門からの過剰な要求があったとしても、長時間残業をしてでもこれをこなし、成果主義のプレッシャーに耐え、時にはハラメントにも耐えて、日々きびしさの中で働き続けているのではないのでしょうか。

しかし適応のハードルも、次第に高くなっていきます。人員削減により、各人に求められる仕事の量も増えています。グローバル化によって、高い外国語力やコミュニケーション力も求められるようになってきました。

各社が導入しつつある常時・黒字リストラの手法によって、経営危機でなくとも買下げや転籍などのリストラに遭う危険性が増しています。三洋電機やパナソニックやルネサスのように、遠地への片道切符の転勤をさせ、子育てや介護の責任のある社員などが退職を選ばざるを得ない状況に追い込む例さえあります。

果たして私たちは、本当にこれから先も過酷な会社生活に適応し続け、無事に自身や家族の生活を支え続けていくことが出来るのでしょうか。次章では、私たちの未来について考えてみたいと思います。

一人でも入れる 困ったら

電機・情報ユニオンに相談を

〒142-0043 東京都品川区二葉2-20-8 染野ビル2F

Te103-6421-5323、Fax03-6421-5324 Email: denkiunion@gmail.com



電機労働者懇談会

代金の振込みは、日本ゆうちょ銀行からの送金の場合は【記号】10170【預金種目】普通預金【口座番号】84334451【口座名】電機・情報ユニオンで、銀行などからの送金の場合は【店名】〇一八(ゼロイチハチ)【店番】018【預金種目】普通預金【口座番号】8433445【口座名】電機・情報ユニオンでお願いします。

お申込み

お名前、団体名

送付先など

冊数